

30. 主人がいるか尋ねる [1] [2]

001B : オハヨー。 {玄関の戸を開ける音}

おはよう。 {玄関の戸を開ける音}

002A : ハーイ。 (B ン) アラ マー (B オ) ナニ マズ。

はい。 (B ん) あら まあ (B ×) なに まあ。

003B : オヤズ イダガヤ、オヤズ。

おやじ いるかな、おやじ。

004A : エ イナ アヤ チョット マッテー (B ウン) イタ、サッキマデ

え ×× あら ちょっと 待って (B うん) いた、さっきまで

イタンダゲンド。アー ナンダカ デテッタヨーダネ。イナイヨワ。

いたんだけど。あー なんだか 出てったようだね。いないよ。

005B : イネ。 (A ウン) アー ンデー アイッタ、チョーナイカイノコトデサ

いない? (A うん) あー それでは あれだ、 町内会のことでさ

チョット (A アーアーアー) ソーダンシタカッタゲット ンデ

ちょっと (A あーあーあー) 相談したかったけれど それで[は]

(A エー) アド マダ クッカラワ。

(A ええ) 後[で] また 来るからさ。

006A : ンダネー。 (B ンー) マー カワリー デキネガラー オトサン イットキニ

そうだね。 (B うん) まあ 代わり できないから お父さん いる時に

キテケサイン。

来てください。

007B : ンダナ。 (A ウン) ヤグイン タノミテガラッサ。

そうだな。 (A うん) 役員 頼みたいからさ。

008A : アー (B ウン) ナンダガネ。
あー (B うん) なんだかね。

009B : ダカラ アトデ クツカラ。(A アー ソー) オヤズ イタドキネ。
だから あとで 来るから。(A あー そう) おやじ いる時ね。

(A ハイ ハイ) ハイ (A ハイ) ンジャネ。 ハイ ドーモ
(A はい はい) はい (A はい) それじゃね。 はい どうも

アリガドゴザイマシタ。
ありがとうございました。

010A : フリゲンド モーイッカイ ンデ。
悪いけれど もう一回 それで[は]。

011B : ハイ。 ドーモ ンデ チタッテ ユットイテケサイ。(A ハイ ハイ)
はい。 どうも それで[は] 来たって 言っといってください。(A はい はい)

ヨロシグ。
よろしく。

012A : ユットツカラ ハイ。
言っとくから はい。

013B : ハイ ドーモ。 {玄関の戸を閉める音}
はい どうも。 {玄関の戸を閉める音}

014A : ハイ ドーモ ネー (B ハイ) ゴメンネー。
はい どうもね (B はい) ごめんね。

[1] 30. 主人がいるか尋ねる

会話集3「5. 主人がいるか尋ねる」の再録。詳細は解説4.3を参照。

[2] 30. 主人がいるか尋ねる

話者宅の玄関で実際に動きながら収録した場面であるため、会話の途中に足音や時

計の音が入っている。Aは家の中にいて、Bが外で玄関の戸を開けるところから、Bが玄関を出て戸を閉めるまでを演じていただいた。